

令和6年度第3回地域福祉推進委員会会議録

日時	令和7年2月18日(火)午前10時00分～午前10時40分
場所	宇治市産業会館 1階 多目的ホール
参加者	<p>委員：加藤委員長、岡野委員、宮本委員、奥西委員、工藤委員、武藤委員、迫委員、守本委員、西口委員、田實委員、池内委員、海老名委員、坂本委員、山上委員、堀田委員、緒方委員、俣委員、西委員、西本委員、中村委員、土井委員、藤田委員</p> <p>(欠席委員：神野委員)</p> <p>事務局：波戸瀬福祉子ども部長、星川健康長寿部長、川北地域福祉課長、関島地域援護係長、池主任、社協：島崎事務局長、土田事務局次長</p> <p>傍聴者：1名</p>
事務局	<p>◆次第1 開会</p> <p>＜各委員が座席表のとおり着席していることを確認＞</p> <p>定刻となりましたので、始めさせていただきます。 本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。 私、事務局を担当しております、地域福祉課長川北でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まだ2名お見えでない方がおられますが、欠席のご連絡はいただいておりますので、また後ほどお越しになると思います。</p> <p>続きまして、委員の皆様にご報告させていただきます。 本委員会は「宇治市地域福祉推進委員会の会議の公開に関する要項」に基づき公開とさせていただきます。 また、委員会終了後、発言者名は記載せずに会議録を作成いたしましてホームページにて公開させていただきます。 本日は1名の傍聴の方がお見えです。</p> <p>それでは次に、資料の確認をさせていただきます。 本日使用する資料を事前に送付させていただきましたが、資料2、資料4、資料5、資料6につきましては、本日本配布するものと差し替えをお願いします。机にはすべて揃えておりますので、そちらをご覧くださいと思います。</p> <p>【資料の説明】</p> <p>1. 次第 2. 資料1 宇治市地域福祉推進委員会 委員名簿 3. 資料2 第2期宇治市自殺対策計画（最終案） 4. 資料3 「第2期宇治市自殺対策計画（初案）」に対する意見募集結果</p>

事務局	<p>5. 資料4 「宇治市自殺対策計画（初案）」に対して寄せられたご意見及びそれに対する本市の考え方</p> <p>6. 資料5 「宇治市自殺対策計画（初案）」への意見（地域福祉推進委員会からの意見）</p> <p>7. 資料6 「第2期宇治市自殺対策計画（初案）」の修正箇所一覧</p> <p>資料はお揃いでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜資料の不備がないことを確認＞</p> <p>はい。それではこれより会議の運営を委員長にお願いいたします。 委員長、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">◆次第2 第2期宇治市自殺対策計画の策定について</p>
委員長	<p>改めまして、皆さん、おはようございます。</p> <p>本日は、今ございましたように、第2期の宇治市自殺対策計画（最終案）をご審議いただくということになります。</p> <p>これまで皆様方に、いろいろおっしゃっていただきましたように、現在、宇治市内で自殺なさる方、自殺に追い込まれる方、これは圧倒的に働き盛りの方が多いです。</p> <p>その統計的に見ますと、この景気の波と、どうも重なる或いは生活困窮の波と重なるんじゃないかということ、統計学者などは申します。</p> <p>ただ、しっかり数値を見ますと、15歳から39歳までの死因のトップは自殺です。つまり、若い人たちが、非常に大切な命を落としているという現状です。</p> <p>40歳から49歳の40代での死因の第2位は自殺でありまして、50歳代になりますと、癌とか心臓病などがトップになっていくということです。</p> <p>先だって1月31日、政府、こども家庭庁が発表をしておりましたけれども、2024年の1月から12月の小学生中学生高校生の自殺、これが過去最多になったという話です。</p> <p>こども家庭庁は、我々も、常に心がけていることでございますが、「気持ちを受けとめて、そして、命を大切にするような社会を作っていきたい。」</p> <p>それはここにいらっしゃる皆さんが切実に思っておられることでありますけれども。</p> <p>それではどうしたらいいのか。スクールカウンセラーを充実させるとか、ということ、こども家庭庁等は言っております。</p> <p>しかし、ここにおられる方が日々地域福祉で汗を流してらっしゃるように、本当にその地道な活動が積み重ねられることが、やはり、本当に子どもたちの命に寄り添うこと、或いは、働き盛りの方が自殺に追い込まれることがない、そういう風土を仕組みとして作っていくことになるのではないかなと思います。</p> <p>本日はパブリックコメントの結果も出ており、そういったことに対するご意見もいただいております。</p> <p>何とぞよろしくご協議をよろしくお願い申し上げます。</p>

委員長	<p>それでは、次第に沿いまして、進行を務めます。</p> <p>「第2期宇治市自殺対策計画の策定について」自殺対策計画書案に対する意見、募集の結果につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、資料3をご覧ください。</p> <p>自殺対策計画（初案）に対する意見募集結果でございます。</p> <p>パブリックコメントですが、令和6年12月16日から令和7年1月17日まで実施いたしました。その結果、資料3の2番、意見募集結果にもありますように、3名の方から21件の意見をいただきました。</p> <p>意見の内容と、それに対する本市の考え方は、資料4の通りです。</p> <p style="text-align: center;">＜資料4について説明＞</p> <p>資料4 第2期宇治市地域福祉計画（諸案）に関するパブリックコメント 意見一覧</p> <p>◇No.1～7については表記をわかりやすく修正。</p> <p>◇うち No.7については委員の皆様への事前送付資料から変更となっているため詳しく説明。</p> <p>→資料6（左側が初案、右側が最終案、修正箇所の下線あり）5ページ No.9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表中の初案の「独居」を「同居人なし」に変更し、「同居人あり」「同居人なし」に表記を統一。 ・「同居人あり」の方が自殺者数が多いが、10万人あたりの自殺死亡率は「同居人なし」の方が多いのが現状。 <p>◇No.10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、表現を修正。 ・初案では第1期計画の表現と同じであったが、“「弱さ」をオープンにできることが本当の強さだと受け止められる文化・風土を根付かせていく”には違和感がある、「それは人権意識ではないか」とのご指摘。 ・初案と最終案との比較を資料6で確認。 ・資料6 5ページ No.11 <p>→修正箇所の下線あり。「“弱さ”をオープンにできることが本当の強さ」を「“弱さ”をオープンにできる環境づくりが必要」に改めた。最終案の「そして」以下は、パブリックコメントの意見を取り入れた表現にしている。</p> <p>次に資料5をご覧ください。</p> <p>地域福祉推進委員会からのご意見です。</p> <p style="text-align: center;">＜資料5について説明＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇No.2は数値の訂正 ◇No.4は表現を分かりやすく修正 ◇No.6はコラムの記載を追加

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事前送付資料から変更。 ・事前送付資料では「資料2」の最終案にコラムの記載がない。 →本日配布の「資料2」ではコラムを3つ記載。(資料2の12ページ目、17ページ目、29ページ目に記載。) ・委員長に執筆いただき、事務局が編集したもの。 <p>簡単ではございますが、「第2期宇治市自殺対策計画の策定について」の説明は以上となります。</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、委員の皆様からご意見、ご質問をいただきたいと思います。</p> <p><委員、挙手></p> <p>はい。お願いします。</p>
委員	<p>今の説明の中で、私が疑問に思うことがありまして、資料2の7ページの「自殺時の同居人の有無」の報告についてです。</p> <p>同居人が居らっしゃるのか、居らっしゃらないのかについてのデータをどういう意図でここに掲載されているのかということについて、パブリックコメントと少し被っているが私はどうも理解できない。</p> <p>そのあたりのご説明をいただくとありがたいと思っています。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
委員長	<p>はい。それでは事務局よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>同居人については、国からもデータとして挙がっています。</p> <p>昨今言われています孤独孤立の問題で、そういったことが全てではないかとは思いますが、同居人の有無と関連性があるではないかということで、参考になるのではないかとということで掲載しております。</p>
委員長	<p>はい。委員が納得されていません。</p>
委員	<p>納得というか、孤立や孤独は、データでみると10万人あたりの自殺死亡率でみると「同居人なし」の方が高い。その前段として実数でいうと、「同居人あり」の方が多いというデータとしては示しておられると思います。同居人が居ない孤立死という自殺をされた方が多いのではないかと。ということをご指摘して、それに対して何か対策を強化しないといけない、強化しなければならないなどの狙いなのではないでしょうか。</p> <p>孤立死を防ぐためには、どのような施策をしていくのかということをご強調するためのデータとして考えてよいのでしょうか。</p>
委員長	<p>事務局、いかがですか。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりです。</p> <p>一人暮らし高齢者などが増えてきているということもございます。施策として</p>

事務局	<p>は、「基本施策」というところで挙げさせていただいていますが、「同居人あり」「同居人なし」を受けて、例えば（資料2）18ページの（1）高齢者への支援のところ、一人暮らし高齢者の世帯で地域包括支援センター等の施策で重点的に取り組んでいくことでお示ししております。</p>
委員長	<p>（委員に対して）いかがでしょうか。</p>
委員	<p>確認ですが、宇治市が全国と比べて、京都府と比べて、多いとか少ないとかそういうことなら分かりますが、「同居人あり」、「（同居人）なし」だけの比較だけでそういったことが言えるのかは、私は疑問に思います。</p> <p>意図を確認したいことであり、これ以上は言いませんが。</p> <p>本来的にいえば、全国レベルと比べて宇治市の場合は孤立死が多いということであればよく理解できるのですが、ここにあるのはあくまで「同居人あり」「同居人なし」の比較で、全国レベル、京都府レベルでの比較ではないので、あまり説得力がないような気がしました。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>はい。</p> <p>そうしましたら、特に7ページについては、結論めいたものを書いているわけではないですので、これはこれでデータとして置くとして、いま委員がおっしゃったように、一人暮らしを楽しんでおられる方もたくさんおられる。また、一人暮らしが非常な勢いで増えています。孤立孤独死と自死の問題をどこまで踏み込めるのかということは、難しいところです。</p> <p>同居していることで逆に精神的にしんどくなることも、実はイギリスの家族研究などで結果も出ています。</p> <p>ここは非常に言い切ることは難しいところだろうと考えます。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p> <p>気になる点など、ご質問ございませんか。</p>
委員	<p>今の話題に付随した話になります。</p> <p>「同居人あり」「同居人なし」で、自殺死亡率でいうと「同居人なし」が多いということで、これは事実だと思います。</p> <p>（資料2の）18ページに、「高齢者への支援」で、一人暮らし高齢者に対しての支援は非常によく分かるのですが、先ほどの挨拶の中にもありましたが、（資料2の）5ページに、宇治市はどちらかというと働き盛りの方の自殺率が全国よりも高く、高齢者は低いということが出ています。</p> <p>逆に、そのあたりを組み合わせた施策が本来は必要だったのではないかと思います。この終盤になって申し訳ないですが、ここでとれる施策があれば、ここに載らないけれども、（対策を）取っていただけたらありがたいと思います。</p>
委員長	<p>はい。事務局いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>働く方の自殺が多いという現状がありまして、自殺対策計画の21ページに「働く人への支援」ということで、重点取組として挙げております。</p>

委員長	(委員に対して) よろしいでしょうか。
委員	はい。大丈夫です。ありがとうございます。
委員長	<p>ご意見をしっかり受け止めさせていただきと思います。他にいかがでしょうか。</p> <p>パブリックコメントの中にも、先ほど説明がありましたように、非常に重要な指摘があって、それへの対応もさせていただいたということです。</p> <p>人間に「強い人間」と「弱い人間」がいたというようにとられるのは一番よくありませんので、周りの人のつながりや環境は非常に重要であるということです。</p> <p>いかがでしょうか。 よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>文言ということで、最終案の10ページの一番上の行にQOL（生活の質）という文言が唐突に入ってるようなイメージで感じています。</p> <p>Quality of Lifeの略だと思いますが、なぜここでQOLという、生活の質のことを、自殺対策の基本的な考え方の中に、盛り込まれているのかなというのがちょっと気になりました。</p> <p>私の提案としては、このQOL（生活の質）については、注釈を入れた方がいいのではないかと思います。</p> <p>QOLというのは知っている人は常識的に知っていますが、一般市民の皆さんに、すべてQOLが知られてるのかというのは怪しいということもあって、Quality of Lifeの略称で最近、特に生活の質といいますか、いわゆる規則正しい生活を送ることが、かなり生活のウェルビーイング（Well-being）いうことですけれど、生活の質を向上させていくのに、重要な役割を果たしているというようなことも指摘されてるかと思います。</p> <p>できればこのQOLについては、注釈で、Quality of Lifeの略であるということと、それからそういう生活の質ということが、この自殺対策でも重要な役割を担っているというようなことで、ちょっとコメント的に入れてはどうかというふうに思いました。以上です。</p>
委員長	<p>これは、私もぜひ入れてほしいということで事務局にお願いした経緯があります。QOLの捉え方については、日本語に訳すと「生活の質」です。具体的に書いていますが、安定した生活基盤、収入、職業、住宅、教育、医療の保障が1つ目、張り合いのある仕事が2つ目、所属実感のあるグループ、コミュニティ、社会が3つ目、信頼できる仲間が4つ目、安らげる家庭が5つ目、うるおいをもたらす文化、芸術、娯楽活動（が6つ目）、それらが総合的に保障されているかどうか、あるいはその人の周りにあるかどうか。そこは、その人が孤立して自殺に追い込まれることがない、一つの大事なポイントだということで、ぜひとも入れてほしいということをお願いした経緯があります。</p> <p>QOLの説明としてはこういう形で説明させていただいているということです。</p>

委員	説明としてはいいのですが、QOL というのが何の略が全然書いていないです。
委員長	今のご意見で、(QOL は)「Quality Of Life の略」ということをどこかに入れていただけますか。
事務局	頂戴したご意見で検討させていただきます。
委員長	はい。ありがとうございます。 他にいかがでしょうか。 よろしいでしょうか。 非常に熱心にみていただきましたので、事務局としても努力しましてこういう形で最終案として提案していただいたということで、特段大きな間違いがなければ、お認めいただくということでよろしいでしょうか。
	<委員、挙手>
委員	資料2の8ページの図『自殺実態白書2013(NPO法人ライフリンク)』の中の「地域生活の現場」がかぶっているような気がします。 精神疾患、うつ(状態)、希死念慮。精神疾患があるからこそ、うつ状態になって、うつ状態があるからこそ、希死念慮になるのが自殺の原因になると思います。 (8ページ 下から2行目)「～とともに、自殺未遂者や自死遺族支援等にも取り組みます。」と、自殺未遂者の取り組みは分かりますが、自死遺族支援というのは、既に事が起こってからだと思うので、こういう取り組みでは遅いのではないかと思います。
事務局	真ん中の図ですが、NPO法人ライフリンクの「自殺実態白書」から引用しているもので、その中で要因を分けられているもので、その内容をそのまま載せています。
委員長	白書から引用したものだというので、精神疾患の実情が被るのではというご指摘ですが、挙がっている項目はいろいろなところが被る内容になると思いますので、ご容赦いただければと思います。 2つ目のご質問について、(事務局は)いかがですか。
事務局	国の自殺対策におきましても、「自死遺族」に対する支援というのは文言として挙がってきています。 宇治市でも第1期計画では、そのあたりの記載はできていなかったのですが、第2期では必要ではないかということで、今回入れさせていただいています。
委員長	(委員に対して)よろしいでしょうか。 やはりお子さんを亡くされたり、大事な家族を亡くされたりした方の心のケアは

委員長	<p>ものすごく大事な課題だと思いますので、自死遺族支援というのは政府も力を入れているということです。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p> <p><他に意見なし></p> <p>それでは、この件に関しましては以上とさせていただきます。</p> <p>文言等でお気づきのことがありましたら、事務局にお寄せください。</p> <p>(事務局に対して) 次の議題はどうでしたか。</p>
事務局	<p>議題としては以上になります。</p> <p>(次は)「その他」になります。</p> <p style="text-align: center;">◆次第3 その他</p>
事務局	<p>はい。皆様8月の第1回から、この会議は3回にわたって開催させていただきまして、この自殺対策計画の策定につきまして、皆さんからご意見いただきまして本当にありがとうございました。</p> <p>おかげさまで、本日のこの会議で集約をさせていただき、修正、ご意見をいただきましたので、そこはしっかり、委員長ともご相談をしながら進めさせていただきたいなというふうに思っております。</p> <p>このパブリックコメントの結果等の最終案につきましては、今後、ホームページの方でも公表させていただきまして、3月の上旬に議会の方にも報告をさせていただきまして、そこでのまたご意見等もあろうかと思っておりますので、最終的にはそれも反映させていただいた上で、3月中に計画策定という形で、完成版という形をとっていきたいなというふうに思っております。</p> <p>少しタイムラグは出るかもしれませんが、また委員の皆様にも、完成版の方をお届けできるよう段取りをしていきたいと思っております。</p> <p>今年度の地域福祉推進委員会につきましては本日ももちまして終了ということになります。</p> <p>繰り返しになりますが、計画策定に向けまして、長い期間にわたって、また、非常に分厚い資料につきましてご精読をいただき、ご意見いただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>来年度の第1回目の会議につきましては、例年通り8月頃を予定をいたしておりますので、またそちらにつきましては、日程調整をさせていただきたいと思っております。引き続き宇治市の地域福祉行政にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の終わりにあたってのご挨拶とさせていただきたいと思っております。</p> <p>本日は本当にありがとうございました。</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>私、委員長として、本当に至りませんでしたけれども、熱心に、ご審議、ご協議いただいたことを感謝いたしたいと思っております。</p> <p>知情意ということ申しますけれども、知識については、どんどん突き進んで日進月歩でありますけれども、情の部分、共感する部分。これが何か社会全体か</p>

<p>委員長</p>	<p>ら構造的に低下していったような気がしてしようがありません。つまり、人と人が生身で出会っていくということ、五感で出会っていくということそういうものが、今の社会からそぎ落とされていっている。</p> <p>そして、意思の部分、主体ということを申しますけれども、地域福祉は住民主体ということ、政府も今も言っておりますけれども、その主体がどんどん低下していっている。</p> <p>その情の部分、意思の部分が落ちていって、知の部分、その知の部分でさえ、AIが変わって、我々の知をカバーしていって、AI に任せてしまうようなそういう社会がこれから生まれていくのではないかと。</p> <p>命、或いは我々の、思い、気持ち、こういうものが本当に信頼でもって繋がるような、そういう宇治市を皆様方と手を取り合って、築き合っていきたいと思えます。</p> <p>その他のその他になります、「ヒューマンライブラリー」というものを、事務局に無理を言いまして、今日、配らせてもらいました。</p> <p>社会の中で、割と疎外されがちな人たち、或いは、疎外されてきた人たちが五、六人でテーブルを囲んで、お話をすることなので、実は今、3人しか応募がございませんで、皆さん方の中にも、こういったこと、関心のある方（はご参加ください）。トランスジェンダーの方は、9年間中高の教員をなさってこられた方があります。こういう方のお気持ちをしっかり受けとめられることも、私自身とっても大事な機会かなと思っております。また、呼びかけをしていただければありがたいと思えます。</p> <p>いろいろと申し上げましたけれども、今後ともよろしく願い申し上げます。本日は本当にお疲れ様でございました。</p> <p>(終了)</p>
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------